

くい文化センターだより 高原のそよ風

TEL(0847)32-7138
FAX(0847)32-8406



いつでも どこでも だれでも
支えあい
学ぶ楽しさ はじける笑顔

三原市くい文化センターの紹介

目的

くい文化センターは、生涯学習を通じ、まちづくり、人づくりを行う地域学習拠点施設です。ライフスタイルの変化や情報化社会といった時代のニーズに対応する充実した機能を備え、子どもから高齢者まで誰もが気軽に「新しい自分」と出会うことのできる施設です。岩海の神秘と大地の力強さ、久井の美しい自然をモチーフに、水・緑・大地・光に含まれたつといの場がデザインされています。



くい文化センター玄関側



久井図書館側

施設

開館時間 9時～21時30分
(夜間の使用がない場合
休館日 17時15分まで)
12月28日～1月4日

利用状況

高原ホール (舞台含む)
客席数308席 (障害者席4
含む)あり、ピアノコンサ
ート・講演・行事など。
舞台はコーラス・運動・発表
など。



多目的に使用できますので、是非 ご利用ください。

楽屋1・2
自主講座・会議など。



ギャラリー
講座・団体の作品展示。



写真展風景

申込み ホールは使用日の1年前から7日前、その他施設は使用する日の3ヶ月前から3日前までに、センター事務所にてお申込みください。事務所の受付は休館日を除き、9時から17時までです。

《問い合わせ》 TEL:0847-32-7138 Fax:0847-32-8406

久井町の文化財考

《ふるさとの宝》

文化財は長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産です。国・県・市指定の文化財を「久井町文化財百選(久井町郷土文化愛好会発行)」の中から紹介します。

【安芸牛(市指定)】

- 〈種別〉記念物
- 〈種類〉史跡
- 〈分類〉遺跡
- 〈所在地〉久井町山中野



その昔、卯之宮神社の境内領域について、備後国羽倉と安芸国山中野との間で、主張がくい違い互いに譲りませんでした。その解決のため、双方から猛牛を出して闘わせ、勝った方の主張を取り入れることにしました。「両牛は死闘を繰り返したものの勝負はつかず倒れて、自国で岩になった。」という伝説があります。伝説の当否は定かではありませんが、両方の岩には罅穴がそれぞれ1箇所あり、周辺の地質学的なことを解明するてがかりとなり、極めて重要な意義を持っています。

今回は、船岩1・2号(市指定)を紹介します。

まちかどミニ情報 ヒョウモンモドキ観察会がありました。

ヒョウモンモドキは「国内希少野生動植物種」に指定され絶滅の危険性の高いチョウとなっています。保全地域協議会会長坂本充さんの講義があり、生息環境の保護・改善・創出が必要で、絶滅から救うのは、地域の方々の「理解」と「協力」がないと守れないと話されました。現地では、数頭の成虫を観察することができ、環境の大切さや久井地域の魅力を感じた観察会となりました。



地域を保護団体等で環境整備されています。
[餌となる植物]
幼虫:キセルアザミ(葉)・成虫:ノアザミ(蜜)



色えんぴつ画体験講座がありました。



色えんぴつを使って、身近にある野菜や山野草など描きました。デッサンから色付けまで、気軽に楽しめました。

三原市宇根山天文台 七夕観望会&ハーモニカ演奏会

とき 7月7日(日)
18時～22時

内容 織姫・彦星・星団・土星の観望

入館料 大人 310円
中・高校生 210円
小学生 100円
小学生未満 無料



久井図書館から

「図書館見学ツアー」

6月14日(金) ぴよぴよクラブの参加者来館

大人16人
幼児12人

乳幼児向けからあります。是非お越しください。

